

正光寺開山四百年忌報恩記念事業だより

正光寺遠忌委員会広報誌

【創刊号】

平成24年7月14日発行



臨時総会風景

“正光寺開山四百年忌報恩記念事業”承認

3月4日（日）、正光寺臨時総会が開催され、2年前より準備委員会を立ち上げて検討を重ねてきました本堂・書院の新築・正光寺開山四百年忌法要を主な柱とする上記記念事業が正式に承認されました。

今後、新たに設けられた実行委員会によって業者の選定などが行われ、上記記念事業の第一歩を踏み出すことになりました。

記念事業に向けて

記念事業実行委員長 小栗 正實



皆さんと共に大変な時代に大変な大事業を担うことになりました。

東海地震がこれほど身近な災害と騒がれなければ、20年や30年はこのまま何もなく時が経ち300年続いた現本堂が

そのまま当たり前のように在り続けたことと思います。

しかし、大地震を前にして、熟慮に熟慮を重ねた結果300年振りの再建が止むなしと檀家の総意として承認されました。300年に一度のこの重責をえらい目に当たったと不運に思うのか、300年に一度しかない、貢献できるチャンスを頂いたことを幸運と思うのか？自分の中で行ったり来たりしているのが、正直な気持ちです。お陰様で計画を推進できる目途が立つまで、檀家さんのご協力が得られ、いよいよ計画から実行段階に入ることになりました。檀家の皆さん、それぞれ厳しいご事情の中で精一杯のご協力を頂きましたことを、心より感謝申し上げます。正光寺の過去300年の歴史を汚さぬように、そしてこれからの300年、子々孫々まで誇りを持って護持できるような、質素ではあるが品格のある正光寺を委員会一同責任を持って再建していきますので、檀家の皆さんの今まで以上のご指導・ご鞭撻を切にお願い申し上げます。ご挨拶とお礼の言葉とさせていただきます。

ごあいさつ

正光寺住職 松尾 正澄



本年3月4日、檀信徒総会にて「開山四百年忌報恩記念事業」が承認されましたことは、仏恩であると同時に、檀信徒お一人お一人の敬仏崇祖の表れと衷心より敬意を表したいと存じます。

昨年3月、方広寺の本堂大改修落慶式に際し管長様は「日本人の宗教心はすたれたと世に言うが、この大本堂が見事に完成されたこの現実を見れば、決してそのようなことはない！」と仰せられましたが、まさに同感にして感謝と感激に耐えません。

今年は開山様が正光寺を開かれてちょうど400年目に当たりますが、その記念すべき節目にこのような大事業が立ち上がりました。いよいよ本堂・書院新築を始め、諸堂の整備がなされ、平成34年には開山様の400年のお年忌をお迎えします。まさにこれが報恩であり、皆様方とともにそれが成し遂げられるご縁を想うと言葉ありませんが、同時に、信頼と期待に応えるべく改めて責任の重さを痛感致す次第であります。開山様始め、創建時の先人や歴代住職、皆様方のご先祖様、そして300年後の子孫たちに恥ずかしくない新生正光寺を築くために一層精進研鑽し、皆様方ご支援の元、一丸となって無事円成したいと存じますので、何とぞお見守り頂きますよう心からお願い申し上げます。合掌

明日へのスタート

総務部会部長 森田 泰之



夏を迎え毎日暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

この度「正光寺開山四百年忌報恩記念事業」を行なう事と成りました。

思えば平成21年4月に耐震の事を考えた事に始まります。

檀信徒総会でご承認頂き、皆様方のご協力のもとに進めている所であります。幾度となく会合し、近隣寺院の見学、委員会として勉強会をして参りました。

平成23年3月の東日本大震災もあり心配しましたが、檀家様各位のご理解・ご協力のお陰で進めさせて頂いております。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

本堂建設に向けて

建設部会部長 小栗 幹生



「正光寺開山400年忌報恩記念事業」が発足いたしました。建設部も承認され、準備委員が建設部委員として引き続き担うことになりました。役割は正光寺建替え改修

の建設に関わることです。事前調査・見学、施工者の推薦、建設記録作成、作業確認報告です。現在御住職に正光寺建設基本理念・方針を作成していただいています。これらを達成できる施工業者をみなさんと共に選び、進めたいと考えています。遠忌事業成就まで様々なことをご協力を仰ぐこととなります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご協力に感謝

財務部会部長 杉山 貴訳



檀家の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。皆様には長引く不況の中、正光寺の運営並びに行事などに深いご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

また、去る3月4日の臨時総会におきましては「正光寺開山400年忌報恩記念事業」をご承認頂き誠に有難うございました。

約10年を掛けて進めて参ります一大プロジェクト…本堂・書院の新築、落慶法要、晋山式、開山400年忌を成功させる為、お預かり致します志納金は心して大切に運用させて頂きます。今後ともよろしくお願ひ致します。



正光寺山門



正光寺本堂

『正光寺開山400年忌報恩記念事業』準備の経緯

- 2 1. 8月 構造建築士による本堂・位牌堂・山門の耐震診断
1 2月 社寺建築業者2社による耐震補強工事のための現場調査
- 2 2. 3月 檀信徒総会開催（T社の改修工事不能の説明、「遠忌準備委員会」設立の承認）
4月 再度耐震補強並びに改修工事検討のため4社に改修プラン作成を依頼
8月 第1回「正光寺開山400年忌報恩記念事業準備委員会」開催（4業者説明会）
1 0月 本堂改修と書院新築工事内容の点検、位牌堂新築案から改修案に変更、本堂新築案浮上
1 2月 第2回「正光寺開山400年忌報恩記念事業準備委員会」開催
「正光寺開山400年忌報恩記念事業」中間報告書配布
- 2 3. 2月 寺院見学会（増楽町／増楽寺、高塚町／地蔵院）
寺院見学会（金剛組大阪工場、大阪市／宗円寺、茨木市／総持寺、京都市／大仙院）
寺院見学会（小松／光正寺、尾野／妙重寺、豊町／源長院）
寺院見学会（清水区／龍津寺、袋井市／円明寺）
正光寺全寺域測量（渥美工務測量建築設計事務所）
4月 正光寺建設予定地ボーリング地質調査（地盤技術コンサルタント）
5月 寺院見学会（豊田町／興徳寺）
6月 正光寺本堂再建計画経過報告配布
1 0月 建設5業者に再々見積もり依頼
1 1月 第3回「正光寺開山400年忌報恩記念事業準備委員会」開催（建設4業者による説明会）
地区別説明会（午前：下石原・外地区、午後：三才・白鳥・笠井・外地区）
地区別説明会（午前：上石原・外地区、午後：外地区）
地区別説明会（午後：補充日）
(説明会出席率87%)
- 2 4. 3. 4 檀信徒臨時総会開催
(総会出席率93%)
満場一致で遠忌事業が承認される
3月 「協賛金納入計画書・同意書」の配布、回収
4月 協賛金受付開始
6月 社寺建設業者への見積もり説明会
7月 「正光寺開山四百年忌報恩記念事業だより」創刊
8月末 社寺建設業者の見積もり提出予定

*上記のほか、顧問・総代会、各部会など数多く召集され熱心に協議

【正光寺開山400年忌報恩記念事業の概要】

1. 諸堂の新築・改修及び境内整備
 - ①本堂新築
 - ②書院新築
 - ③位牌堂改修
 - ④妙見堂・納骨堂改修
 - ⑤その他必要と認められる境内整備
2. 「落慶法要」の挙行(1完了後)
3. 「正光寺開山400年忌法要」の挙行(平成34年)
4. 「晋山式」(後任住職就任式)の挙行(平成34年)

【概算総事業費内訳】

1. 本堂新築工事	*****円
2. 書院新築工事	*****円
3. 厨房・トイレ・渡り廊下他新築工事費	*****円
4. 位牌堂・妙見堂・納骨堂・改修工事費	*****円
5. 諸法要費(400年忌・落慶式・晋山式)	*****円
6. 予備費	*****円
<hr/>	
合計金額	*****円



本堂前庭



本堂内部



妙見堂

◆「正光寺開山400年忌報恩記念事業実行委員会」名簿

委員長：小栗正實

副委員長：小栗 寛、小栗茂久

総務部会

◎森田泰之、○小栗昭夫、鈴木克昌、藤森元久、松島茂次、中野雄二、小栗恒男
小栗俊郎、小栗 仁、井熊節夫、夏目康博

財務部会

◎杉山貴訳、○藤田義昭、鈴木哲夫、藤森久夫、小栗金也、小栗誠一郎、小栗 保
井熊利夫、藤森平吉

建設部会

◎小栗幹生、○小栗保之、小栗一也、山下清美、藤田哲蔵、栗田健一、佐藤昭夫
藤田守夫、米山治雄、小栗 祐

監 事：藤森弘一、小栗勝秋

事務局長：松尾正澄

事務局員：松尾啓眞、松尾田鶴子

(◎は各部会とも部長、○は副部長)

本堂建設に寄せて（檀家さんの声）

東京都文京区 鈴木 忍

久しぶりに澄み渡る蒼空が広がり、ベランダでは水仙が風に揺れる週末でしたが如何お過ごしでしょうか。

先日はご丁寧なお手紙を頂戴し、又、先週は地区別檀信徒説明会資料を送付して頂きまして有難うございました。

正光寺様の一檀家として、季節の行事や11月末に開催されました説明会に出席せずに申し訳無く思っておりましたが、昨年12月に送付頂きました中間報告書や今回の説明会資料を拝見致しまして、正光寺様及び各々の檀信徒にとって非常に大切な事業であると理解しております。そして、微力ながら、この正光寺様の300年に一度の一大事業にご協力できる事を嬉しく思います。

今後も2、3年は多忙な日々をお過ごしかと存じますが、御身を大切に頂きますようお願い申し上げます。また、新しく美しい本堂が見られる日を楽しみにしております。 敬具

東京在住の鈴木忍さんは平成19年の夏にお父様を亡くされました。浜松はお父様の故郷であり、忍さんご自身も幼い頃お父様に連れられて、浜名湖や天竜川で遊んだ懐かしい思い出のこの地が好きになられたそうです。また、病床のお父様の「浜松へ帰りたい」の想いを大切にされ、正光寺を菩提寺に定められました。ご縁とは不思議な

ものですが、その不思議なご縁こそを大切になさる鈴木さんのお人柄がお手紙からうかがえます。（住職）

豊町上 鷲山 和男

私は、今年還暦を迎えます。この60年を振り返ると、そこにはいつも、身近で、心の支えとなるお寺がありました。

私がまだ幼かった昭和30年に、先代のご住職が、宮崎から正光寺に移られて来ました。翌年から行われた豆まきでは、小さな私が押しつぶされそうになる程大勢の人が境内に集まり、皆楽しく過ごした事が、今でも思い出されます。

体調を崩し、心の迷いや不安を感じた時には、坐禅を組み、和尚さんのお話に耳を傾け、そして今日まで歩んできました。

この度の「開山400年忌報恩記念事業」では、檀家の一人として協力することの責任と共に、喜びも感じています。

耐震の立派な新本堂、書院等の完成が、今からとても楽しみです。

新しい本堂が出来たら、子、孫と三代で坐禅を組むことが、私の夢です。

ご寄稿頂きました鷲山さんは、先代入寺の頃から正光寺の境内の木々のように遊び、育ち、お寺を見つめてこられた方です。出勤前に来る日も来る日も本堂で黙々と坐禅を組んでおられたお姿は今でも忘れることはありません。正光寺への想いを綴って頂きました。（住職）

編集後記 早いもので「正光寺開山400年忌記念事業準備委員会」が設立されて2年余り経過しました。3月4日の檀信徒総会で、檀家の皆様の正式承認を受けて記念事業が開始されることになりました。これを機に、総務部会では建設の状況を檀家の皆様にお知らせする広報誌を年2回発行することになり、ここに創刊号をお届けする運びになりました。檀家の皆様の声も掲載したいと思いますので、皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。

発行 〒431-3101 浜松市東区豊町749 金光山 正光寺
TEL (053) 434-0800 FAX (053) 443-7410
E-メール: shokoji0800@shokoji.net
編集 「正光寺開山400年忌報恩記念事業実行委員会」総務部会

